



ニュースレター

2023年（令和5年）7月7日 グリーフワークかがわ広報部

理事長就任のごあいさつ

特定非営利活動法人グリーフワークかがわ
ローマ真由子

去る6月11日(日)の本年度総会に併せて開催された理事会において杉山前理事長の後任を拝命し、重責に身の引き締まる思いですが理事長就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

まず初めに、前理事長の杉山洋子様には長きに渡り私たちを力強く引っ張って来て下さいましたことに心から御礼申し上げます。そして今後は事務局長として更に私たちを支えてくださいますこと、大変心強く感じます。

HPに掲載されている「理事長の言葉」を改めて読み返してみても、果たして自分が同じように出来るのだろうかと不安な気持ちが先に立ってしまいますが、同時に、私たちの基本理念である「グリーフワークの普及啓発」をとにかく愚直に目指していけば何とかなるのかなと楽観する自分もいます。

何かにつけて未熟で皆様にはご心配をお掛けすることも多いかと思いますが、グリーフワークが身近なものとなるよう、文字通り「くらしのなかのグリーフワーク」となるよう誠心誠意努めて参りますのでどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

最後になりますが、会員・賛助会員・認定カウンセラーの皆様におかれましては当法人への変わらぬご協力を心より重ねてお願ひ申し上げます。

(2023年7月5日)

理事長退任のごあいさつ

特定非営利活動法人グリーフワークかがわ前理事長
杉山洋子

このたび2023年6月11日をもちまして、グリーフワークかがわ理事長を退任いたしました。理事長在任中には、みなさまからご指導と温かい励ましをいただきましたことを心から感謝申し上げます。

グリーフワーク研究会の発足以来、「グリーフワーク」についての学びの時間だけでなく、市民活動とは何か、NPO法人とは何かという会員の勉強会を重ねて、2009年にはNPO法人の認証、2015年には認定NPO法人の認定を受けました。法人としてのこれまでの歩みは、まず、法人としての基礎を固めること、そしてグリーフワークという心の過程について普及啓発に努めるというステージであったかと思ひます。ようやく「グリーフワーク」の理解が地域に浸透し始めているという手ごたえと、法人としての

信頼を得て地域の市民団体や行政機関との協働も広がりを持てるところまでできました。これからは、誰もがグリーンワークの当事者であるという理解が根付き、互いに支え合う地域づくりをしっかりと安定したものにしていくステージになると思います。後任として、これまで副理事長を務めていたローマ真由子が就任いたしました。これまでと同様にご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

私事になりますが、「グリーンワーク」という言葉に出会い、学習会に参加するようになったのは2001年頃でした。そこでグリーンワーク研究会の活動の原点も知りました。グリーンワークについての学びも第一歩から、ここまで活動を続けてこられたのは、会員の皆さまや歴代の役員はもとより、これまで出会ったすべての方のお力添えのおかげです。ほんとうにありがとうございました。

誰もが自分だけの砂時計を生きています。これまで生きてきた時間はわかりますが残りの砂の量はだれにもわかりません。今、できることを頑張る責任を果たしたいと思います。事務局の仕事をお預かりしますので、これまでよりもむしろみなさまとの接点は増えるのではないかと考えております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(2023年6月30日)

～会員からのメッセージ～

「グリーンケアとグリーンワーク」

はじめまして。2023年に認定カウンセラーいただきました荻田と申します。今年度はグリーンワークかがわの活動内容を知るために認定カウンセラー会議へ参加しています。

私が看護師になった頃、グリーンケアという言葉にスポットが当たり始めました。

「親の死は過去を失くし、配偶者の死は現在を失くし、子供の死は未来を失くす」と言われます。親をなくした子ども、配偶者を亡くした方、子どもを亡くした両親、家族ではない大切な人を亡くした方を見ってきました。看護師という職業は患者中心のため患者様が亡くなると家族のケアはおのずと中止になり患者様家族への配慮も十分には行えていません。ましてや看取りをした医療者へのケアは皆無といってもいいほどでした。

私自身新人看護師の時に味わった患者様の死を忘れようとしたことを思い出すことがあります。その患者様は胃がんの末期で食事がとれない状態でした。「看護師さん来てくれたの?」「今日は看護師さんがお父さんを見てくれるの?お父さんが、あの看護師さんが毎日来てくれたらいいのにと言うのよ。」と訪室のたび患者様や奥様から嬉しい言葉をいただきます。連休明けに患者様の部屋の前を通ると名札がありません。この頃の病棟は患者様の死はつらいことですが、看護師はその気持ちに蓋をして違う患者様が待っている部屋へ行く努力をしていたように思います。そのため患者様がいた部屋の前を通ると患者様や奥様との時間を胸に閉じ込めるような気持ちで日々を過ごしていました。

ここ数年、ご家族様や看取りをした看護師の悲嘆に対しての取り組みが行われるようになってきました。ご家族様には心情を汲み取るように連絡を取り、看護師には患者様の死に対してつらい思いに蓋をせず、今の気持ちを吐露できるカンファレンスを自分を取り囲む人々が行っていきます。私の患者様が亡くなったときが今の時代なら、私自身患者様や奥様との思い出に蓋をしなくてもよかったのかな?と思うことがあります。

大切なものを失ったときに言葉にできない気持ちが涙に代わるのですが、涙を流せないこともあると感じます。クライアントが抱える問題を解決するのではなく、傾聴し心の蓋を少しずつ開けられるように今後も勉強会に参加し、クライアントの力になれたらと思います。どうぞよろしくお願ひします。

グリーンカウンセラー 荻田育代

◆グリーンワークかがわ第19回社員総会報告◆

特定非営利活動法人グリーンワークかがわ定款第23条に基づき第19回社員総会を開催しましたので、下記の通り報告いたします。

日 時：2023年6月11日（日）13時00分～14時30分

場 所：丸亀町レッツカルチャールーム1

香川県高松市丸亀町1番街1高松丸亀町壱番街東館4階

出 席：出席者11名（正会員11名） 正会員委任状出席者27名，監事1名

1. 開会の辞

2. 議長選出

司会の植松美幸から、正会員総数53名中、出席者11名、委任状提出者27名の報告があり、定款第26条並びに第28条3に基づき、定足数を満たすことが確認され、第19回社員総会は有効に成立する旨が宣言された。議長は、推薦によりローマ真由子が選出され、議長は書記を梶浦麻琴、議事録署名人を花岡正憲と村上美智子に指名した。

3. 議 事

第1号議案 2022年度事業報告

杉山洋子理事長より総会資料に沿って2022年度の事業の実施状況について報告が行われた。

第2号議案 2022年度収支決算報告

杉山理事長より総会資料に沿って2022年度の収支決算について報告が行われた。

第3号議案 監査報告

塚本秀和監事より、2023年5月19日、2022年度事業について、福岡啓治監事とともに、適正かつ正確に執行されていると認め監査を終了したと報告があった。

議長から、第1号議案から第3号議案について、一括質疑を求めた。

質問1（花岡正憲）：NPO活動は個人の一般寄付に広く薄く受けて支えられているものであり、個人及び法人からの寄付がどのくらいあったのか。

杉山理事長：企業から約70万円、一般寄付に含まれている寄付は少ないが、多くはテーマ募金で受けていると説明した。来年度の総会より一般寄付金についても詳細を報告する。

質問2（花岡正憲）：岡山NPOセンターにコンサルテーションを受けているが、当法人は認定NPO法人であり、県内でNPOの立ち上げをしたいという者がいればそれに対してサポートできる立場でもある。どのような立ち位置で指導を受けているものなのか、今後も必要であるか、新しい役員体制で議論していただきたい。

杉山理事長：現在の事務局の体制においては、運営や会計作業について指導していただいております。今後も指導が必要なものであるか検討したい。

第1号議案から第3号議案について、採決を行ったところ、出席者正会員53名中、賛成9（議長除く）、反対0棄権1、議長委任状は26名、出席会員への委任状1名、よって本議案は承認された。

第4号議案 2023年度事業計画案

杉山理事長より総会資料に沿って、2023年度の事業計画の説明が行われた。相談事業におけるヘルプラ

インかがわ電話カウンセリングについては、地域社会のなかに電話相談の窓口が多数あり、相談件数も少ないことから一旦休止をすること、人材育成事業として例年開催しているグリーンカウンセラー養成講座・基礎コースについては、理事会でこれまでの事業評価を行った結果、テーマや進め方について一度検討すること、新たな講師の確保のための研修を行うこととし、今年度はグリーンカウンセラー養成講座・基礎コースは開催しないこととした。教育研修における認定カウンセラー研修については、香川県地域自殺対策強化事業費補助金の「人材養成事業」として実施しているものであり、今年度は「自殺予防土曜ホットラインかがわ」の電話対応について演習型の研修、認定カウンセラーのコンプライアンスに関する研修、多様性についての研修など、外部講師を招聘して研修会を開催したいことを説明された。

第5号議案 2023年度収支予算案

杉山理事長より、総会資料に沿って、2023年度収支予算案の説明が行われた。

議長から、第4号並びに第5号議案について、一括質疑が求められた。

質問1（花岡正憲）：役員報酬及び給与（会計）について説明を求める。

杉山理事長：役員報酬については監査の報酬とさらに役員の報酬として6万円予算としている。また、今年度については給与（会計）は予算を立てず、会計担当を雇用する予定はない。

第4号議案、第5号議案について採決を行ったところ、出席者正会員53名中、賛成10（議長除く）、反対0棄権0、議長委任状は26名、出席会員への委任状1名、よって本議案は承認された。

第6号議案 役員改選に関する事項

定款第13条及び第15条の規定により役員選出を行うこととなり、杉山理事長から、事前に自薦、他薦の届はなかったと報告があった。また現任の2名の役員の退任が報告された。この後、杉山理事長から、現任の役員以外に自薦ないし他薦の候補がない場合は、現任の理事7名並びに新任理事として1名を、事前に役員就任の承諾が得られていることの報告と同名を候補として推薦したいとの発言があった。この後、賛否を求めたところ、出席者正会員53名中、賛成10（議長は除く）、反対0、棄権0、議長委任状は26名、出席会員への委任状1名、となり承認された。

役員を退任された者は次のとおりである。

理事 三嶋麻実
理事 小栗洋子

理事及び監事に選任された者は次のとおりである。

理事 植松美幸（重任）
理事 杉山洋子（重任）
理事 花岡正憲（重任）
理事 村上美智子（重任）
理事 ローマ真由子（重任）
理事 梶浦麻琴（重任）
理事 多田葉子（重任）
理事 河合信幸（新任）
監事 福岡啓治（重任）
監事 塚本秀和（重任）

第7号議案 その他

その他の審議事項について議場に諮ったところ、特に意見は挙がらなかった。

◆2023年6月11日 第185回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 理事長、副理事長の選任に関する事項

定款第13条第4項に従い、第19回社員総会において選出された理事による互選が行われた。選出に先立ち、杉山洋子から、事務局長への就任の意見表明があり、理事長候補にローマ真由子、副理事長候補に植松美幸の推薦が行われた。この後、新任の理事長並びに副理事長への支援態勢について意見集約が行われ、理事長にローマ真由子、副理事長に植松美幸がそれぞれ選出された。なお、被選出者は、席上ただちに就任を承諾した。

◆2023年6月18日 第186回理事会◆

《審議事項》

第1号議案 2023年度担当理事体制に関する事項

本年度の事業計画に基づき、主担当理事及び副担当理事が決定された。担当は、以下の通りで承認された。

普及啓発	主担当	多田	副担当	ローマ, 河合
相談事業	主担当	梶浦	副担当	村上(美), 多田
人材育成	主担当	植松	副担当	梶浦
教育研修	主担当	河合	副担当	花岡
技術援助	主担当	杉山	副担当	花岡
調査研究	主担当	植松	副担当	ローマ
管理運営	主担当	杉山	副担当	村上(美), 梶浦

第2号議案 ゲートキーパー養成研修（三豊市在宅医療介護勉強会）への講師派遣に関する事項

11月2日開催の三豊市在宅医療介護勉強会のゲートキーパー普及啓発での講師派遣依頼について受諾することで承認され、傾聴ボランティア養成講座と同様に認定カウンセラーで勉強会を開催し講師を選定することで承認された。

第3号議案 認定カウンセラーメーリングリストに関する事項

正会員の連絡用のメーリングと認定カウンセラーに限定したメーリングに整える必要があり準備することで承認された。

第4号議案 技術援助事業 都立小児総合センターへの講師派遣に関する事項

先方からの連絡内容を報告し今後引き続き、当日の具体的な打ち合わせについては当日の講師となるローマ理事長が担当し、講師料等については技術援助担当理事が窓口として対応し継続審議していくことで承認された。

第5号議案 2023年度グリーフカウンセラー資格認定委員会に関する事項

5月14日に選任された委員6名の内、ローマ委員は理事長に選任されたので資格認定委員の委嘱は解くこととし、今年度は5名体制とすることで承認された。第1回認定委員会を理事長が招集し、資格認定委員長を決定すること、その後は認定委員長が招集する。

第6号議案 認定カウンセラーの発言への対応に関する事項

当該認定カウンセラーへの文書案について提案どおりで承認された。当該認定カウンセラーへの結果報告については、ローマ、村上(美)、多田で対応することとなった。